

第53回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会  
 マーチングバンド部門 審査内容  
 小学生の部

2024年11月2日(土)  
 於:セキスイハイムスーパーアリーナ

全体的演奏・演技の調和

全体的演奏・演技の調和

演奏・演技全体を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて全体的に判断する。

全体的表現

- ・全体構成  
 「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」の変化や「起承転結」等の構成を理解した、メリハリが感じられる演奏・演技になっているか。
- ・音楽と視覚の調和  
 音楽効果と視覚効果の調和を意識した演奏・演技をしているか。
- ・ミュージシャンシップ  
 観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。
- ・完成度  
 安定感のある仕上がった演奏・演技になっているか。

音楽的表現

- ・表現  
 テンポ、音色、音程等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した音楽表現ができているか。
- ・バランスとブレンド  
 ステージング（フォーメーションの中での楽器の配置）を考えながら、管楽器内、打楽器内、管楽器と打楽器のバランスやブレンドに気を付けた合奏ができているか。
- ・強弱  
 美しい音質を保ちながら、強弱の差が効果的に表現されているか。
- ・統一感  
 イントネーション等がそろっているか。

視覚的表現

- ・表現  
 テンポ、緩急等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した動きの表現ができているか。
- ・ポジションワーク  
 インターバル（横の間隔）やディスタンス（縦の間隔）等に気を付け、全体のフォーメーションに貢献できているか。
- ・動作の鮮明度と同一性  
 動作がはっきりとして正確で、形やタイミングがそろっているか。
- ・リカバリー  
 ミスに対して適切な対応をしているか。

段階C(BOX C)	段階B(BOX B)	段階A(BOX A)	
良好	優良	優秀	
70未満	70以上85未満	85以上100満点	

## 全体的演奏・演技の調和 審査基準(クライテリア)

段階 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲やコンテ（動き方を図とコメントで示したもの）の意図を伝えようとする意欲は充分で、ミュージシャンシップが強く発揮されている。</li> <li>・ メンバー（演奏・演技者）の演奏と動きが十分に調和されており、多くの場面で観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている。</li> <li>・ テンポの維持や変化が適切になされている。</li> <li>・ 楽曲のスタイルや曲想を的確に反映した音楽表現がなされ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが適切になされている。</li> <li>・ ポジションワークや形、タイミングがそろえられたはっきりとした動きの表現がなされ、リカバリーも適切にされている。</li> </ul>
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップを感じ取ることができる。</li> <li>・ メンバーの演奏と動きが概ね調和されており、観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている場面が見受けられる。</li> <li>・ テンポの維持や変化が概ね正確に実施されている。</li> <li>・ 楽曲のスタイルや曲想を反映した音楽表現を行おうとする意欲が感じられ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが概ねなされている。</li> <li>・ ポジションワークや形、タイミングが概ねそろえられた動きの表現がなされ、リカバリーしようとする姿勢が感じられる。</li> </ul>
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップがあまり感じられない。</li> <li>・ メンバーの演奏と動きが調和されている場面が少なく、観客の耳と目に相乗効果に訴えることができていない。</li> <li>・ テンポの維持や変化が不正確である。</li> <li>・ 楽曲のスタイルや曲想を意識した音楽表現があまりなされておらず、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが不十分である。</li> <li>・ ポジションワークや形、タイミングがそろえられた動きの表現があまりなされておらず、リカバリーしようとする姿勢が不足している。</li> </ul>

第53回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会  
 マーチングバンド部門 審査内容  
 中学生の部

2024年11月2日(土)  
 於:セキスイハイムスーパーアリーナ

全体的演奏・演技の調和

全体的演奏・演技の調和

演奏・演技全体を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて全体的に判断する。

全体的表現

- ・全体構成  
 「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」の変化や「起承転結」等の構成を理解した、メリハリが感じられる演奏・演技になっているか。
- ・音楽と視覚の調和  
 音楽効果と視覚効果の調和を意識した演奏・演技をしているか。
- ・ミュージシャンシップ  
 観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。
- ・完成度  
 安定感のある仕上がった演奏・演技になっているか。

音楽的表現

- ・表現  
 テンポ、音色、音程等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した音楽表現ができているか。
- ・バランスとブレンド  
 ステージング（フォーメーションの中での楽器の配置）を考えながら、管楽器内、打楽器内、管楽器と打楽器のバランスやブレンドに気を付けた合奏ができているか。
- ・強弱  
 美しい音質を保ちながら、強弱の差が効果的に表現されているか。
- ・統一感  
 イントネーション等がそろっているか。

視覚的表現

- ・表現  
 テンポ、緩急等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した動きの表現ができているか。
- ・ポジションワーク  
 インターバル（横の間隔）やディスタンス（縦の間隔）等に気を付け、全体のフォーメーションに貢献できているか。
- ・動作の鮮明度と同一性  
 動作がはっきりとして正確で、形やタイミングがそろっているか。
- ・リカバリー  
 ミスに対して適切な対応をしているか。

段階C (BOX C) 良好 70未満	段階B (BOX B) 優良 70以上85未満	段階A (BOX A) 優秀 85以上100満点	
---------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--

<b>全体的演奏・演技の調和 審査基準（クライテリア）</b>	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲やコンテ（動き方を図とコメントで示したもの）の意図を伝えようとする意欲は充分で、ミュージシャンシップが強く発揮されている。</li> <li>・ メンバー（演奏・演技者）の演奏と動きが十分に調和されており、多くの場面で観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている。</li> <li>・ テンポの維持や変化が適切になされている。</li> <li>・ 楽曲のスタイルや曲想を的確に反映した音楽表現がなされ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが適切になされている。</li> <li>・ ポジションワークや形、タイミングがそろえられたはっきりとした動きの表現がなされ、リカバリーも適切にされている。</li> </ul>
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップを感じ取ることができ</li> <li>る。</li> <li>・ メンバーの演奏と動きが概ね調和されており、観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている場面が見受けられる。</li> <li>・ テンポの維持や変化が概ね正確に実施されている。</li> <li>・ 楽曲のスタイルや曲想を反映した音楽表現を行おうとする意欲が感じられ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが概ねなされている。</li> <li>・ ポジションワークや形、タイミングが概ねそろえられた動きの表現がなされ、リカバリーしようとする姿勢が感じられる。</li> </ul>
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップがあまり感じられない。</li> <li>・ メンバーの演奏と動きが調和されている場面が少なく、観客の耳と目に相乗効果に訴えることができていない。</li> <li>・ テンポの維持や変化が不正確である。</li> <li>・ 楽曲のスタイルや曲想を意識した音楽表現があまりなされておらず、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが不十分である。</li> <li>・ ポジションワークや形、タイミングがそろえられた動きの表現があまりなされておらず、リカバリーしようとする姿勢が不足している。</li> </ul>

第53回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会  
 マーチングバンド部門 審査内容  
 中学生の部

2024年11月2日(土)  
 於:セキスイハイムスーパーアリーナ

全体的演奏技術と表現力

全体的演奏技術と表現力

演奏者の技術力や表現力がいかに調整されているかを全体的に判断する。

演奏技術

- ・呼吸法  
十分に息が吸えており、ブレスコントロールができているか。  
必要な長さまできちんと息を使えているか。
- ・音質  
無理のない自然な響きで、それぞれの楽器の特性にあった音色が作られているか。
- ・音程  
チューニングが正確にされているか。  
正しいピッチにより旋律、和音とも自然な響きが得られているか。
- ・アーティキュレーション  
曲想に合っており十分な多様性があるか。  
よく統一されているか。
- ・打楽器の奏法の統一  
基本的な奏法が統一されているか。

表現力

- ・ダイナミックレンジ  
曲想に合った強弱の付け方ができているか。
- ・フレージング  
曲想に合ったフレーズ感を表現しているか。
- ・バランスとブレンド  
全体を通じて高音楽器から低音楽器までバランスよくブレンドされているか。  
旋律やソロとハーモニーのバランスが良く、明瞭であるか。
- ・スタイル  
楽曲のジャンルの特徴や、楽曲そのものの個性を演奏者がいかに理解して表現しているか。
- ・ミュージシャンシップ  
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

段階C (BOX C)

良好

70未満

段階B (BOX B)

優良

70以上85未満

段階A (BOX A)

優秀

85以上100満点

<b>全体的演奏技術と表現力 審査基準（クライテリア）</b>	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法は統一されており、常に正確なブレスコントロールで、ダイナミックレンジや音域の高度な要求に対応している。</li> <li>・常に正確なチューニングと美しい音質で演奏し、乱れが感じられることはほとんどない。</li> <li>・常に安定したテンポと正確なタイミングで演奏されており、アーティキュレーションも曲想に合わせた奏法で統一されている。</li> <li>・曲想の解釈は細かい部分まで統一されており、表現の幅も十分である。また、常に楽曲の流れを考慮した表現がなされている。</li> <li>・全体を通し、常に曲想を理解した演奏が実施され、場面ごとのバランスやブレンドのコントロールがそろえられている。</li> <li>・楽曲のスタイルや特徴を十分に理解し、その個性を活かした表現をしようと試みており、ほとんどが成功している。</li> <li>・観客にアピールしようとする意志は十分に力強く、ほとんどの場面において意図した内容が伝わっている。</li> </ul>
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法はほぼ統一されているが、時折乱れ、不安定な響きや荒々しい音が聞かれる場面がある。</li> <li>・多くの場面でチューニングは正確にそろえられ、美しい音質で演奏しているが、時折乱れを感じることもある。</li> <li>・安定したテンポとタイミングで演奏されているが、時折アタックやリリースに乱れがあり、演奏の明瞭さやインパクトに欠ける場面がある。</li> <li>・場面ごとの曲想や音量に関する解釈はある程度統一されており、表現にある程度の幅を感じとれるが十分ではなく、楽曲の流れ表現の仕方が一致しないことが一部にある。</li> <li>・楽曲のスタイルや特徴を理解し、それを活かした表現を試みているが、時折不十分な場面がある。</li> <li>・観客を意識し、アピールしようとする姿勢は感じとれるが、十分でない為に意図した内容が伝わらない場面がある。</li> </ul>
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法を統一しようとする努力は見受けられるが、ブレスコントロールの乱れが多く十分な響きが得られていない。</li> <li>・正確なチューニングと美しい音質を保とうとする努力は見受けられるが、乱れる場面が多い。</li> <li>・テンポとタイミングに関する解釈はそろっているようであるが、アタックやリリースに乱れが多く、演奏の明確さやインパクトに欠ける場面が多い</li> <li>・場面ごとの曲想や音量に関して、統一された解釈があるようであるが、表現の幅が狭いため楽曲の流れと表現のしかたが一致しないことが多い。</li> <li>・楽曲のスタイルや特徴に関する理解が不足している。</li> <li>・観客を意識し、アピールしようとする努力が不足しているために意図した内容が伝わらない。</li> </ul>

第53回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会  
マーチングバンド部門 審査内容  
中学生の部

2024年11月2日(土)  
於:セキスイハイムスーパーアリーナ

全体的演技技術と表現力

全体的演技技術と表現力

演技者の技術力や表現力がいかに調整されているかを全体的に判断する。

演技技術

- ・スタイルの統一と適応  
FM、RM、MT、停止姿勢、ターン方法などが統一されているか。
- ・動作の完成度  
動作が正確に行われ、タイミングがそろっているか。
- ・楽器と手具の保持および使い方  
演奏・演技を行うにあたり楽器や手具などが適切に使われているか。
- ・列、間隔のそろえ方  
列をそろえるにあたり、その基準を理解しているか  
動きの中でインターバルやディスタンスの取り方を理解しているか。
- ・動作の転換とタイミング  
連続した動作が正確にスムーズに行われているか。

表現力

- ・コミュニケーション  
表現を通して観客との対話がなされているか。
- ・ボディーワーク  
演奏している音楽に適した表現がなされているか。
- ・手具などの表現  
手具の扱い方や振付が音楽に適した表現がなされているか。
- ・ショーマンシップ  
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が統一されているか。

段階C (BOX C)

良好

70未満

段階B (BOX B)

優良

70以上85未満

段階A (BOX A)

優秀

85以上100満点

<b>全体的演技技術と表現力 審査基準（クライテリア）</b>	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢や動作，楽器や手具の持ち方等のスタイルは完全またはそれに近い状態で統一されており，良く洗練されている。</li> <li>・動作やタイミングは良くそろっており，ミスがあった場合そのリカバリーは早く正確である。</li> <li>・フォーメーションの中で，列や間隔の乱れは非常に少なく，あったとしてもほとんど気にならない。</li> <li>・音楽に適した表現が良くできており，アピールしようとする姿勢も高い。</li> </ul>
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢や動作，楽器や手具の持ち方等のスタイルを統一しようとするときの基準は認識できるが，不十分である。</li> <li>・動作やタイミングは概ねそろっているが，細部の調整が不十分な場面があり，ミスのリカバリーが遅くなることがある。</li> <li>・フォーメーションの中で，列や間隔をそろえようとする意識はあり，その合わせ方も理解しているようであるが，不十分な場面がある。</li> <li>・音楽を意識しているが，アピールしようとする姿勢が不足し，表現力に欠ける場面がある。</li> </ul>
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢や動作，楽器や手具の持ち方等のスタイルを統一しようとするときの基準があいまいで，統一感が弱い。</li> <li>・動作やタイミングを合わせようとする努力は見受けられるが，ふぞろいが多い。</li> <li>・ミスの自覚が乏しくリカバリーの機会を失う場面が多い。</li> <li>・フォーメーションの中で，列や間隔をそろえようとする努力は見受けられるが，ふぞろいな場面が多い。</li> <li>・音楽に関する理解度が不足し，アピールしようとする姿勢が少ないために表現力が乏しい場面が多い。</li> </ul>

第53回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会  
 マーチングバンド部門 審査内容  
 高等学校・一般の部

2024年11月3日(日)  
 於：セキスイハイムスーパーアリーナ

## 音楽と視覚の調和

### 作品の全体的調和

ショー全体のコーディネーションを音楽的な要素と視覚的な要素との結びつきをふまえて総合的に判断する。

- ・コーディネーション  
 ショーの流れに「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」や「起承転結」を感じさせる変化があるか。  
 また、無理のない流れがあるか。  
 クライマックスが表現されているか。  
 各セクションの組合せに調和や変化を感じさせるか。
- ・音楽と視覚の調和  
 音楽と視覚が調和されているか。
- ・独創性と多様性  
 作品が独創性に優れ、なおかつ多様性に富んでいるか。

### 作品の解釈と表現

ショー全体の解釈と表現を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて総合的に判断する。

- ・表現の幅と質  
 作品が意図するところを理解し強弱や緩急、喜怒哀楽などの表現に幅があるか。  
 また、それらを高めようとしているか。
- ・ミュージシャンシップとショーマンシップ  
 観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。  
 また、観客とのコミュニケーション(伝達)が良好か。
- ・完成度  
 内容を把握し、ミスやエラーのない演奏・演技になっているか。  
 表現の幅と質が作品の意図するところを理解し強弱や緩急、喜怒哀楽などの表現が完成されているか。

段階1 (BOX 1)	段階2 (BOX 2)	段階3 (BOX 3)	段階4 (BOX 4)	段階5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

## 音楽と視覚の調和 審査基準（クライテリア）

	作品の全体的調和	作品の解釈と表現
段階5	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品全体において調整は行き届いており、違和感はほとんど無い。</li> <li>作品全体の構成、処理は、バラエティーに富んでおり、部分的な処理にも多様性が感じられる。</li> <li>色彩的にも豊かであり、かつ音楽との整合性もあり効果的である。</li> <li>場面ごとに多くの、聴かせ所や見せ場があり、それらが大変うまく強調されており、非常に効果的である。</li> <li>作品全体を通して常に平均的なレベル以上の効果が生み出されており、長い時間観客を引き付ける事に成功している場面が多々ある。</li> <li>ほとんどの場面で、解釈、処理は独創的かつ高度であり、それらが効果に密接に結びついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏・演技者による作品の理解は充分かつ高度で、観客とのコミュニケーションは常に円滑で密度も高く行われている。</li> <li>ほとんどの場面で演奏・演技者の集中力は常に深く継続しており、観客は作品の意図を充分理解し楽しむ事が出来る。</li> <li>演奏・演技者による感情表現は幅広く、質的にもバラエティー豊かに現われ、観客を度々魅了し感動させる。</li> <li>ほとんどの場面で演奏・演技者のミュージシャンシップやショーmanshipは常に強く発揮され、観客が感動する場面が度々ある。</li> </ul>
段階4	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品全体において、多くの場面で調整されているが、違和感がある部分もある。</li> <li>作品全体の構成、処理はバラエティーに富んでいるが、平淡に感じられる部分が多少ある。</li> <li>色彩的に豊かであり、音楽との整合性も感じられるが、違和感がある部分もある。</li> <li>場面ごとに聴かせ所や見せ場があり、効果が強調されているが、効果が限定的である。</li> <li>多くの場面で継続して平均以上の効果を発揮している部分があり、観客を引き付ける事もあるが、それぞれが繋がらない。</li> <li>随所に独創的な解釈、処理が感じられるが、それが直接効果に繋がらない場合も少しある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏・演技者による作品の理解は充分で、観客とのコミュニケーションは高いが、伝わりきらない場合がある。</li> <li>多くの場面で演奏・演技者の集中力は安定しているが、作品の意図が継続的に伝わらない場合もある。</li> <li>演奏・演技者による感情表現は広く、観客が心を動かされる場面も少なくないが、伝わらない場合もある。</li> <li>多くの場面で演奏・演技者のミュージシャンシップやショーmanshipは発揮されているが、観客を感動させられない場合もある。</li> </ul>
段階3	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品全体において調整されている様に感じられるが、調整が不足している部分も少なくない。</li> <li>作品全体の構成、処理にバラエティーも感じられるが、平淡に感じられる部分もある。</li> <li>やや、全体的な色彩が単調で、音楽との整合性も不足している。</li> <li>聴かせ所や見せ場と感じられる部分もあるが、充分な効果を出し得てはいない。</li> <li>効果的と思える部分はあるが、断片的であり、長続きしない場合が多い。</li> <li>独創的な解釈、処理がなされていると感じられる部分があるが、多くはない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏・演技者による作品の理解は得られているようだが、観客とのコミュニケーションは十分ではない。</li> <li>ある程度、演奏・演技者の集中力を感じる部分もあるが、作品の意図が継続的に伝わらない。</li> <li>演奏・演技者は作品が持つ感情表現は感じられるが、観客の感情を操作するには至らない。</li> <li>ある程度、演奏・演技者のミュージシャンシップやショーmanshipは発揮されているが、観客を感動させられない場合もある。</li> </ul>
段階2	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品全体において調整されている部分が不足しており、違和感も多く感じられる。</li> <li>作品全体の構成、処理、色彩が平坦に感じられる。</li> <li>聴かせ所や見せ場と感じられる部分が不足しており、その多くが効果を発揮していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏・演技者による作品の理解は不足しており、観客とのコミュニケーションも不十分である。</li> <li>演奏・演技者の集中力が不足しており、作品の意図が伝わらない。</li> <li>演奏・演技者による感情表現はあまり感じられない。</li> </ul>
段階1	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品全体が調整されている様には感じられず、雑然としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏・演技者による作品の理解は未熟で、観客に対する意識も希薄である。</li> </ul>

**第53回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会**  
**マーチングバンド部門 審査内容**  
**高等学校・一般の部**

2024年11月3日(日)  
 於：セキスイハイムスーパーアリーナ

### 演奏の調和

#### 演奏の音楽性

演奏の音楽性がいかに優れているかを、管楽器・打楽器の両面にわたって、演奏者全体もしくは各セクションに関して判断する。

- ・表現力  
音楽的表現がいかに幅広く多様で音楽の内容をよく理解しているか。
- ・フレージング  
曲想に合ったフレージングがなされているか。  
統一されているか。
- ・ダイナミックレンジ  
強弱が適切かつ統一されているか。  
その範囲がいかに幅広いか。
- ・バランスとブレンド  
バランスとブレンドのコントロールがどのようにされているか。
- ・テンポ  
テンポの維持・コントロールがいかに正確かつ適切にされているか。

#### 演奏の質と技術

演奏の質や、全体的な技術がいかに優れているかを、管楽器・打楽器両面にわたって、演奏者全体もしくは各セクションに関して判断する。

- ・全体的な音質  
全体的な音質がいかに美しいか。
- ・チューニング  
チューニングがいかに的確になされているか。
- ・イントネーション  
イントネーションがどれだけそろっているか。
- ・リズムコントロール  
リズムコントロールがいかに適切にされているか。
- ・タイミング  
タイミングがいかに正確にそろっているか。
- ・フォーカス（音の方向性・指向性）  
フォーカスコントロールがいかに適切かつそろっているか。

段階 1 (BOX 1)	段階 2 (BOX 2)	段階 3 (BOX 3)	段階 4 (BOX 4)	段階 5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

## 演奏の調和 審査基準（クライテリア）

	演奏の音楽性	演奏の質と技術
段階5	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽表現は常に幅広く深みがあり、内容も多様である。</li> <li>フレージングは常に曲想的に確反映したもので、乱れはほとんど感じられない。</li> <li>バランスとブレンドのコントロールは常に適切に整えられている。</li> <li>テンポは常に正確に維持され、その変化のコントロールも柔軟かつ確実に乱れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音質は常に美しく整えられ、乱れが感じられることはほとんどない。</li> <li>チューニングは正確で、ピッチが不ぞろいな部分はほとんどない。</li> <li>イントネーションは良くそろえられており、違和感はほとんどない。</li> <li>リズムコントロールはほとんどの場面で適切に行われ、自然な流れが保たれる。</li> <li>タイミングに対する理解が的確で、乱れることはほとんどない。</li> <li>フォーカスコントロールは常に適切で、音がバラバラの向きに飛ぶようなことはほとんどない。</li> </ul>
段階4	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽表現は多くの場面で適切になされているが、幅や深みに不足を感じる部分もある。</li> <li>フレージング多くの場面で曲想を反映しているが、乱れを感じる部分もある。</li> <li>ダイナミックレンジは広く、多くの場面でコントロールされているが、乱れを感じる部分もある。</li> <li>テンポは維持され、その変化も多くの場面でコントロールされているが、乱れる場合もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音質は多くの場面で美しく整えられているが、乱れが感じられることもある。</li> <li>チューニングは概ね正確だが、ピッチがふぞろいに感じられる部分もある。</li> <li>イントネーションは概ねそろっているが、違和感がある部分もある。</li> <li>リズムコントロールは多くの場合適切だが、流れが損なわれる場面もある。</li> <li>フォーカスコントロールは多くの場面で良好だが、音がバラついてやや拡散することがある。</li> </ul>
段階3	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽表現はある程度なされているが、あまり幅広くなく、単純に感じられる。</li> <li>フレージングはある程度整えられているが、不足を感じる。</li> <li>ダイナミックレンジはやや狭く、コントロール不足を感じる。</li> <li>バランスとブレンドはある程度整えられているが、不足を感じる。</li> <li>テンポはある程度維持されているが、その変化をコントロールしきれずに乱れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音質はある程度美しく整えられているが、不足を感じる。</li> <li>チューニングはある程度そろっているが、ピッチがふぞろいな部分も多い。</li> <li>イントネーションはある程度そろっているが、違和感がある部分も多い。</li> <li>リズムコントロールはある程度なされているが、不自然さを感じる部分が多い。</li> <li>フォーカスコントロールはある程度なされているが、音がバラバラと拡散する時間が長い。</li> </ul>
段階2	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽的な表現が不足しており、表現も単調である。</li> <li>ダイナミックレンジは狭く、あまりコントロールされていない。</li> <li>フレージングはあまり整えられておらず、ふぞろいである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音質を美しく保とうとする努力が不足している。</li> <li>チューニングは大雑把であり、ピッチがそろわない場面が多い。</li> <li>リズムやタイミング、フォーカスの理解が不足している。</li> </ul>
段階1	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽的に何かを表現しようとしているようには感じられない。</li> <li>フレージングやダイナミクスが設定されているようには聴こえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音質を美しく保とうとしているようには聴こえない。</li> <li>チューニングやリズムは不正確で、そろっていない。</li> </ul>

**第53回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会**  
**マーチングバンド部門 審査内容**  
**高等学校・一般の部**

2024年11月3日(日)  
 於：セキスイハイムスーパーアリーナ

### 演技の調和

#### 視覚要素（フォーム、ボディ、手具）

演技の構成がいかにより優れているかを、演技者全体もしくは各セクションに関して判断する。

- ・ 統一性  
視覚的構成がいかによりまとまっているか。
- ・ 視覚的音楽性（フレージング、解釈、強調）  
視覚的構成がいかにより音楽的であるか。
- ・ 表現力  
視覚的表現がいかにより豊かであるか。
- ・ 多様性  
視覚的構成がいかにより多様であるか。

#### 演技の質と技術

演技の質や全体的な技術がいかにより優れているかを、演技者全体もしくは各セクションに関して判断する。

- ・ 同一性  
同じ動作がいかにより同じようにできているか。
- ・ 全般的技術  
全般的な動作の技術がいかにより優れているか。
- ・ アーティキュレーション  
動作のアーティキュレーションがいかによりそろっているか。
- ・ 鮮明度  
動作がいかによりはっきり明らかであるか。
- ・ リカバリー  
リカバリーがいかにより早い。

段階 1 (BOX 1)	段階 2 (BOX 2)	段階 3 (BOX 3)	段階 4 (BOX 4)	段階 5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

## 演技の調和 審査基準（クライテリア）

	視覚要素（フォーム、ボディ、手具）	演技の質と技術
段階5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一性は十分に常にとまどっており、乱れる部分はほとんどない。</li> <li>・視覚的構成に音楽が十分に反映しており、違和感があることは少ない。</li> <li>・手具が効果的に使用され、かつ音楽を視覚的に表現する効果を十分に発揮しており、違和感があることは少ない</li> <li>・視覚的に豊かな表現がなされ、不足に感じる部分が少ない。</li> <li>・多様性は大変豊富で、状態の変化は常に保たれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に高い動作の同一性を保ち、不ぞろいな部分は少ない。</li> <li>・ほとんどの場面で継続した技術の優秀性を発揮し、未熟さを感じる部分は少ない。</li> <li>・アーティキュレーションは十分整っており、不ぞろいな部分は少ない。</li> <li>・動作は常に鮮明で、はっきりとしている。</li> <li>・ほとんどの場合、リカバリーは素早く、的確になされる。</li> </ul>
段階4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの場面で視覚的に統一され、まとまっているが、乱れる部分が時々気になる。</li> <li>・多くの場面で視覚的構成に音楽を反映している部分が見られるが、違和感がある場面も少しある。</li> <li>・多くの場面で手具などが効果的に使用され、音楽を反映した表現が見られるが、違和感があることが少しある。</li> <li>・多くの部分で豊かな視覚的表現がなされるが、もの足りなさを覚える部分も少しある。</li> <li>・多様性は豊かではあるが、単調な部分もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作は概ね同一性を保っているが、不ぞろいな部分もある。</li> <li>・多くの場面で技術の優秀性を示すが、未熟さを感じる場面もある。</li> <li>・アーティキュレーションは概ねそろっているが、気になる部分もある。</li> <li>・動作は鮮明だが、はっきりしない部分もある。</li> <li>・多くの場合、リカバリーは迅速にされるが、時折時間が掛かる場合や不完全なことがある。</li> </ul>
段階3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度、視覚的に統一されているが、まとまりのない部分も少なくない。</li> <li>・ある程度、視覚的構成に音楽を反映している部分が見られるが、全体的に不足している。</li> <li>・ある程度、手具などの効果的な音楽表現があるが、もの足りない。</li> <li>・豊かな表現力を感じられる部分もあるが、全体的にもの足りない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度、動作はそろっているが、不ぞろいな部分が多い。</li> <li>・高度な技術の習得を示す部分を感じられるが、全体的に未熟さが見える。</li> <li>・整ったアーティキュレーションを感じる部分もあるが、不十分な場面が多い。</li> <li>・鮮明な動作を感じる部分もあるが、はっきりしないことが多い。</li> <li>・リカバリーはされるが、時間が掛かることが多く、不完全な場合が少なくない。</li> </ul>
段階2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一感が不足しており、まとまりも感じられない。</li> <li>・視覚的構成に音楽性を感じられる部分はあまりない。</li> <li>・手具などの表現に音楽性を感じる部分が少なく、その効果も感じられない。</li> <li>・表現力を感じることができず平坦である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作がそろっている部分が少なく、それぞれが十分ではない。</li> <li>・良好な技術を示すことが少なく、初歩的な範囲から脱しきれていない。</li> <li>・アーティキュレーションがそろっておらず、不鮮明である。</li> </ul>
段階1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てにおいて不ぞろいで、まとまりがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ内容の動作をしているように見える場面がない。</li> <li>・初歩的な動作の技術の習得が不足している。</li> </ul>

**第53回マーチングバンド・パトントワーリング東北大会**  
**マーチングバンド部門 審査内容**  
**高等学校・一般の部**

2024年11月3日(日)  
 於: セキスイハイムスーパーアリーナ

## 管楽器の技術

### 基礎技術力

管楽器セクションの基礎技術力がいかに優れているかを、個々のプレーヤーもしくはパート、セクションに関して判断する。

- ・呼吸法  
十分に息が吸えているか。安定したブレスコントロールができているか。必要な長さまできちんと息を使えているか。
- ・音質  
無理のない自然な響きが得られているか。それぞれの楽器の特性に合った音色をつくっているか。
- ・音程  
チューニングが正確になされているか。正しいピッチにより旋律、和音とも自然な響きを得られているか。
- ・アーティキュレーション  
曲想に合っているか。十分な多様性があるか。よく統一されているか。
- ・テンポ及びタイミング  
ある一定のテンポ感を安心して感じることができるか。テンポ・タイミングがいかに正確か。

### 表現力

管楽器セクションの表現力がいかに優れているかを、個々のプレーヤーもしくはパート、セクションに関して判断する。

- ・表現方法とフレージング  
音楽的表現がいかに幅広く、多様で音楽の内容をよく理解しているか。  
曲想に合ったフレージングがなされ、それが統一されているか。
- ・ダイナミックレンジ  
音量に関しての解釈が統一されているか。曲想に合った強弱の付け方ができているか。
- ・バランスとブレンド  
全体を通じて高音楽器から低音楽器までバランス良くブレンドされているか。  
旋律やソロとハーモニーのバランスが良く、明瞭であるか。
- ・スタイル  
楽曲のジャンルの特徴や、楽曲そのものの個性を演奏者がいかに理解し表現しているか。
- ・ミュージシャンシップ  
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

段階 1 (BOX 1)	段階 2 (BOX 2)	段階 3 (BOX 3)	段階 4 (BOX 4)	段階 5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

## 管楽器の技術 審査基準 (クライテリア)

	基礎技術力	表現力
段階5	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸法や発音、リリースはほとんど完璧に統一されている。</li> <li>常にリラックスした状態で安定したプレスサポートを駆使し、強弱・音域・音色変化の高度な要求にも明瞭かつ瞬時に対応している。</li> <li>音質は豊かで繊細かつ力強い。</li> <li>各楽器の特性に合った音色を理解しており、乱れることはほとんどない。</li> <li>アンブシュアの安定により自然な響きが得られており、多彩な音色を持っている。</li> <li>音程はほとんど場面で完璧に維持され、確固たるイヤートレーニングに支えられた正確なピッチコントロールが美しいイントネーションとハーモニーを生み出している。</li> <li>アーティキュレーションはほとんどの場面で統一され、パリエーションも豊富で、曲想に合わせて適切に使用されている。</li> <li>テンポやタイミングに関する解釈はほとんどの場面で統一されており、一定のテンポ感を安心して感じることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法は多彩で幅広く、楽曲に関する深い理解と音楽性をほとんどの場面において感じ取ることができる。また、フレージングは音楽的で良く統一されている。</li> <li>ダイナミックレンジは非常に幅広く、ほとんど乱れることなくコントロールされている。また、強弱の設定も適切で解釈もほぼ統一されている。</li> <li>バランスは常に維持され、ppやffを演奏する場合でも個々の音が飛び出すことはほとんどなく、パートして豊かにブレンドしている。また、メロディーと伴奏のバランスも良い。</li> <li>楽曲のスタイルや特徴を十分に理解している。また、音楽の個性を活かした表現を試み、ほとんどの場面で成功している。</li> <li>ミュージシャンシップに満ちており、観客にその音楽をアピールしようとする姿勢が強く感じられる。また、ほとんどの場面において奏者の意図する内容が明瞭に伝わる。</li> </ul>
段階4	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸法や発音、リリースは多くの場面で統一されているが、難しいフレーズを演奏する場合などにプレスサポートの乱れを感じることもある。</li> <li>音質は多くの場面において良好で楽器本来の音色が得られているが、ダイナミクス・音域等の高度な要求がある時に炸裂音や音色の劣化がみられることがある。</li> <li>音程は多くの場面で良く維持されているが、イントネーションやハーモニーに乱れを感じることもある。</li> <li>アーティキュレーションは多くの場面で統一されているが、違和感がある部分もある。</li> <li>テンポやタイミングに関する解釈は多くの場面で統一されているが、乱れを感じることもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法は幅広いが、時折楽曲の理解が不十分に感じられる場面もある。また、フレージングも音楽的で適切だが、それらが損なわれたり、乱れたりする場面もある。</li> <li>ダイナミックレンジは広く、多くの場面でコントロールされているが、乱れを感じる部分もある。また、強弱の設定は概ね適切だが、不自然に感じることもある。</li> <li>バランスは多くの場面で維持されるが、個々の音がパートにブレンドしないこともある。また、メロディーと伴奏のバランスも概ね良いが、メロディーが埋もれてしまうこともある。</li> <li>楽曲のスタイルや特徴を概ね理解し、その個性を活かした表現を試みているが、成功しないこともある。</li> <li>ミュージシャンシップを感じる事ができ、観客にその音楽をアピールしようとする姿勢が感じられるが、奏者の意図する内容が伝わり切らないこともある。</li> </ul>
段階3	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸法や発音、リリースはある程度そろっているが、プレスサポートが乱れるため不安定な響きや荒々しい音色がしばしば聞かれる。</li> <li>音質を良好に維持しようとする姿勢は感じられるが、f(フォルテ)では荒々しくなり、p(ピアノ)では弱々しい響きになりやすく、音色にバラつきも生じる。</li> <li>音程はある程度そろえられているがピッチコントロールが弱く、イントネーションやハーモニーがしばしば乱れる。</li> <li>アーティキュレーションをそろえる意志は感じられるが、統一感が弱く、不明瞭な印象を受ける。</li> <li>テンポやタイミングを合わせる意志は感じられるが、その方法やテクニックの問題から乱れを生じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法にある程度の幅を感じ取れるが、楽曲の理解に不足を感じる。また、フレージングは音楽的にやや不十分で乱れることが多い。</li> <li>ダイナミックレンジはやや狭く、コントロール不足も目立つ。また、強弱の設定はある程度なされているが、解釈に統一感がなく、違和感がある。</li> <li>バランスはある程度維持されているが、個々の音がパートにブレンドしないことが多い。また、バランスの問題からメロディーが不明瞭に感じられる場面が多い。</li> <li>楽曲のスタイルや特徴をある程度理解しているように思われるが、その表現は成功しないことが多い。</li> <li>ミュージシャンシップはやや弱く、観客にその音楽をアピールしようとする意図する内容が伝わり切らない。</li> </ul>
段階2	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸法に関する理解が不十分で、ムダな力みのため、必要なプレスサポートが得られていない。また、発音やリリースをそろえる意識も弱い。</li> <li>音質を良好に維持しようとする意志が弱く、プレスやアンブシュアの不安定さによる個々の音色のバラつきも目立つ。</li> <li>チューニング自体が不完全であり、耳を使って一定の音程を保つトレーニングが不足している。</li> <li>アーティキュレーションに関する理解が不十分で、テンポやタイミングをそろえる意識やトレーニングも不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法の幅が狭く、楽曲の理解も浅く不十分である。また、演奏の努力は認められるが音楽的な表現が不足しており、フレージングに関する認識もあまり感じられない。</li> <li>ダイナミックレンジは狭く、あまりコントロールもされていない。また、強弱の設定も不明瞭である。</li> <li>バランスを維持しようとする意識が希薄なため、メロディーラインが不明瞭である。また、個々の音の飛び出しが著しく目立ち、パートにブレンドしない。</li> <li>楽曲のスタイルや特徴に関する理解が浅く、不十分である。また、奏者の意図も観客にうまく伝わらない。</li> </ul>
段階1	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸法に統一性が認められず、楽器本来の音色が聞かれない。</li> <li>プレストレーニングやアンブシュアの改善が必要である。</li> <li>チューニングができておらず、音程を合わせようとしているようには感じられない。</li> <li>テンポやタイミングに関する個々の理解が認められず、演奏がまちまちでそろわない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法やフレージングに関して、統一された解釈があるようには感じられない。</li> <li>ダイナミクスやバランスに関する認識があるようには感じられない。</li> <li>楽曲に関する理解が感じられず、何かを伝えようとする姿勢が見受けられない。</li> </ul>

**第53回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会**  
**マーチングバンド部門 審査内容**  
**高等学校・一般の部**

2024年11月3日(日)  
 於：セキスイハイムスーパーアリーナ

## 打楽器の技術

### 基礎技術力

打楽器セクションの基礎技術力がいかに優れているかを、個々のプレーヤーもしくはパート、セクションに関して判断する。

・奏法の統一と適応

グリップ、フォーム、スティックハイトがいかに統一されているか。

・音楽の音作り

楽器本来の良い音が出せているかどうか。(奏法的に導き出せているか。調整で導き出せているか。)

楽曲に対し、適した楽器、道具(スティック等)を使用しているか。会場の音響を考慮した音作り(調整)がされているか。

各楽器の音程、音域がバランス良く決められているか。

・ピッチの正確さ

同じ楽器間で個々のピッチがいかに正確か。楽曲の特徴を配慮した音程、音域になっているか。

・アーティキュレーションの明確さ

同じ内容の演奏をしていると思われる演奏が、いかに同じように演奏されているか。

演奏上のミス、くせ、手順、アクセント、中断等がいかに少ないか。

・テンポ及びタイミング

ある一定のテンポ感を安心して感じるができるか。テンポ、タイミングがいかに正確か。

### 表現力

打楽器セクションの表現力がいかに優れているかを、個々のプレーヤーもしくはパート、セクションに関して判断する。

・表現方法とフレージング

音楽的表現がいかに幅広く多様で、音楽の内容をよく理解しているか。また、曲想にあったフレージングがなされているか、統一されているか。

・ダイナミックレンジ

音量に関しての解釈が統一されているか。  
 曲想を考慮した強弱の付け方ができているか。

・バランス

各楽器間の音量のバランスが、的確に決められているか。

・スタイル

楽曲のジャンルのな特徴や、楽曲そのものの個性を、演奏者がいかに理解し表現しているか。

・ミュージシャンシップ

観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

段階1 (BOX 1)	段階2 (BOX 2)	段階3 (BOX 3)	段階4 (BOX 4)	段階5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

## 打楽器の技術 審査基準（クライテリア）

	基礎技術力	表現力
段階5	<ul style="list-style-type: none"> <li>奏法はほぼ完全に統一されており楽曲に対する配慮も適切で個人差を見つけるのはむずかしい。また個々の音色、音量に差がほとんどなく、全体的なアーティキュレーションの明確性に大きく貢献している。</li> <li>楽器の特性をほぼ完璧に引き出す音作りがなされており、音域が効果的に設定されている。</li> <li>同じ楽器間でのチューニングはほとんど完璧に調整されており、楽曲に対する配慮も適切で違和感な場面はほとんどない。</li> <li>楽譜の解釈はほぼ完全に統一され、アーティキュレーションのミスはほとんど感じられない。</li> <li>テンポ、タイミングに関する解釈が統一されておりこれらのミスはほとんどない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法は多彩で幅広く、楽曲に対する深い理解と音楽性をほとんどの場面において感じ取ることができる。フレージングは音楽的で良く統一されている。</li> <li>ダイナミックレンジは非常に幅広く、ほとんど乱れることなくコントロールされている。また、強弱の設定も適切で解釈もほぼ統一されている。</li> <li>バランスは常に維持され、ppやffを演奏する場合でも乱れることはほとんどない。また、パートやセクションとしての豊かなサウンドを形成している。</li> <li>楽曲のスタイルや特徴を充分に理解している。音楽の個性を活かした表現を試み、ほとんどの場面で成功している。</li> <li>ミュージシャンシップに満ちており、観客にその音楽をアピールしようとする姿勢が強く感じられる。また、ほとんどの場面において奏者の意図する内容が明瞭に伝わる。</li> </ul>
段階4	<ul style="list-style-type: none"> <li>奏法は多くの場面で統一され、楽曲に対する配慮もなされており個人差はほとんど見受けられない。また個々の音色、音量等も良くそろっているが、統一性の不完全さから、時折乱れを感じることもある。</li> <li>楽器の特性をある程度引き出す音作りがなされており、音域は概ねバランス良く設定されている。</li> <li>楽譜の解釈は多くの場面で統一されているが、アーティキュレーションのミスが時折ある。</li> <li>同じ楽器間でのチューニングは概ねそろっているが、楽曲に対し適切でない場合が時折、見受けられる。</li> <li>テンポ、タイミングに関する解釈は多くの場面で統一されているが、時折乱れを感じることもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法は幅広いが、時折楽曲の理解が不十分に感じられる場面もある。また、フレージングも音楽的で適切だが、それらが損なわれたり、乱れたりする場面もある。</li> <li>ダイナミックレンジは広く、多くの場面でコントロールされているが、乱れを感じる部分もある。また、強弱の設定は概ね適切だが、不自然に感じることもある。</li> <li>バランスは多くの場面でうまく維持されるが、やや乱れてパートやセクションでうまくそろわないこともある。</li> <li>楽曲のスタイルや特徴を概ね理解し、その個性を活かした表現を試みているが、成功しないこともある。</li> <li>ミュージシャンシップを感じる事ができ、観客にその音楽をアピールしようとする姿勢が感じられるが、奏者の意図する内容が伝わり切らないこともある。</li> </ul>
段階3	<ul style="list-style-type: none"> <li>奏法はある程度、統一されているが、グリップ、フォーム、スティックハイト等の調整に不足を感じる。</li> <li>楽器の特性をある程度引き出しているが、若干の違和感がある。</li> <li>楽譜の解釈はある程度統一されているが、アーティキュレーションにミスが生じる。</li> <li>同じ楽器内でのチューニングはある程度そろえられているが十分ではない。</li> <li>テンポ、タイミングに関する解釈はある程度統一されているが、不正確な部分が少なくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法にある程度の幅を感じ取れるが、楽曲の理解に不足を感じる。フレージングは音楽的にやや不十分で乱れることが多い。</li> <li>ダイナミックレンジはやや狭く、コントロール不足が目立つ。強弱の設定はある程度なされているが、解釈に統一感がなく違和感がある。</li> <li>バランスはある程度維持されているが乱れが目立ち、パートやセクションでそろわないことが多い。</li> <li>楽曲のスタイルや特徴をある程度理解しているように思われるが、その表現に成功しないことが多い。</li> <li>ミュージシャンシップはやや弱く、観客にその音楽をアピールしようとする意図する内容が伝わり切らない。</li> </ul>
段階2	<ul style="list-style-type: none"> <li>奏法に関する基準が不十分で、グリップ、フォーム、スティックハイト等がふぞろいなため、個々の音色、音量に違いが出てしまっている。</li> <li>使用している楽器の特性を引き出そうとする努力が不足しており、楽曲の特徴を考慮した楽器の音色に不自然さを感じる。</li> <li>楽譜の内容に関する解釈が不十分で、ミスが多いため明瞭さが不十分である。</li> <li>同じ楽器内でのチューニングにバラツキが感じられる。</li> <li>テンポ、タイミングに関する解釈が不十分で、正確さに欠ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法の幅が狭く、楽曲の理解も浅く不十分である。演奏の努力は認められるが音楽的な表現が不足しており、フレージングに対する認識もあまり感じられない。</li> <li>ダイナミックレンジは狭く、あまりコントロールもされていない。強弱の設定も不明瞭である。</li> <li>バランス設定が的確に決められていないため、各楽器のサウンドにバラツキを感じる。</li> <li>楽曲のスタイルや特徴に関する理解が浅く、不十分である。奏者の意図も観客にうまく伝わらない。</li> </ul>
段階1	<ul style="list-style-type: none"> <li>奏法に関して基準があるように見受けられない。またグリップ、フォーム、スティックハイト等がふぞろいで、統一感が感じられない。</li> <li>使用している楽器の特性が全く引き出されていない。また、楽曲の特徴を考慮した楽器の音色が引き出せていない。</li> <li>楽譜の内容に関して個々の解釈、演奏がまちまちで明瞭さがない。</li> <li>同じ楽器内でのチューニングが全くそろっていない</li> <li>テンポ、タイミング等の解釈がバラバラである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法やフレージングに関して、統一された解釈があるようには感じられない。</li> <li>ダイナミクスやバランスに対する認識があるようには感じられない。</li> <li>楽曲に対する理解が感じられず、何かを伝えようとする姿勢が見受けられない。</li> </ul>

**第53回マーチングバンド・パトントワーリング東北大会**  
**マーチングバンド部門 審査内容**  
**高等学校・一般の部**

2024年11月3日(日)  
 於：セキスイハイムスーパーアリーナ

**演技の技術（カラーガードを含む）**

**基礎技術力**

演技者の基礎技術力がいかに優れているかを、カラーガードの技術を含め、個々のプレーヤーもしくはグループに関して判断する。（動くすべてのセクションを対象としてサンプリングする）

- ・スタイルの統一と適応  
 フォワードマーチ，リアマーチ，マークタイム，停止姿勢，ターン方法等が統一されているか。また，その動作が演奏することに適しているか。
- ・動作の転換とタイミング  
 全ての連続動作が正確でスムーズに行われているか。
- ・楽器，手具等の保持および使い方  
 演奏・演技を行うにあたり楽器や手具等が適切に使われているか。
- ・リカバリー能力  
 ミスに対して適切な対応ができているかどうか。

**達成度と表現力**

演技者の表現力がいかに優れているかを、カラーガードの技術を含め、個々のプレーヤーもしくはグループに関して判断する。（動くすべてのセクションを対象としてサンプリングする）

- ・列，および間隔のそろえ方  
 列をそろえるにあたり，その基準を理解しており，その上でそろえられているか。また，間隔（インターバル・ディスタンス）の取り方を理解しているか。
- ・ボディーワーク  
 演奏されている音楽に適した表現がなされているか。
- ・手具等の表現  
 手具の扱い方や振付けが音楽に適した表現がなされているか。
- ・ショーマンシップとコミュニケーション  
 観客を意識し，アピールしようとする姿勢が一貫しているか。また，表現を通して観客との対話がなされているか。

段階 1 (BOX 1)	段階 2 (BOX 2)	段階 3 (BOX 3)	段階 4 (BOX 4)	段階 5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

## 演技の技術（カラーガードを含む） 審査基準（クライテリア）

	基礎技術力	達成度と表現力
段階5	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢、動作等のスタイルは、ほとんど統一されており洗練されている。</li> <li>動作、タイミングは良くそろっている。</li> <li>楽器、手具等の持ち方、操作の仕方はほとんど統一されており洗練されている。</li> <li>ミスのリカバリーが早く正確である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>列や間隔の乱れがほとんどなく、あったとしても気にならない程度。</li> <li>ポディーワークの表現は、ほとんどが音楽に適しており、すばらしい。</li> <li>手具の表現は、ほとんどが音楽に適しており、すばらしい。</li> <li>ショーマンシップが高く、音楽に最も適した表現が良くできており、アピール度も高く感銘できる。</li> </ul>
段階4	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢、動作等のスタイルは多くの場面で統一されており演奏演技するのに適した動作になっているがばらつきが生じる部分もある。</li> <li>動作、タイミングは多くの場面でそろっているが、細かいところではばらつきが生じる部分もある。</li> <li>楽器、手具等の持ち方、操作の仕方は多くの場面で統一されている。なおかつ演奏、演技に適しているが、ばらつきが生じる部分もある。</li> <li>ミスのリカバリー速度は普通であるが、正確である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>列や間隔の乱れがあまりなく整理されているが、クリーニング不足の部分もある。</li> <li>ポディーワークの表現は、多くの場面で音楽に適しているが時折乱れる事がある。</li> <li>手具の表現は、多くの場面で音楽に適しているが時折乱れる事がある。</li> <li>多くの場面で音楽に適した表現ができており、アピール度も高いが違和感な部分もある。</li> </ul>
段階3	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢、動作等のスタイルを統一しようとしている基準は認識でき、演奏演技するのに、ある程度適した動作になっているがふぞろいな部分が見受けられる。</li> <li>動作、タイミングは理解しているようだが、ふぞろいな部分が見受けられる。</li> <li>楽器、手具等の持ち方、操作の仕方の基準は認識でき、演奏演技には、ある程度適しているがふぞろいな部分が見受けられる。</li> <li>ミスのリカバリーが遅い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>列や間隔を揃えようとする意識は見受けられるがクリーニング不足である。</li> <li>ポディーワークの表現は、ある程度音楽に適しているが違和感な部分も見受けられる。</li> <li>手具の表現は、ある程度音楽に適しているが違和感な部分も見受けられる。</li> <li>音楽をある程度意識しているが、アピール度が十分でないため表現不足を感じる。</li> </ul>
段階2	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢、動作等のスタイルを統一しようとしている基準は見受けられるが、かなりふぞろいが目立ち統一感が弱い。また演奏演技に適した動作になりきれていない。</li> <li>動作、タイミングを合わせようとする努力は時折見受けられるが不十分である。</li> <li>楽器、手具等の持ち方、操作を統一しようとする基準は見受けられるが、かなりふぞろいが目立つ。</li> <li>ミスを自覚しているがリカバリーしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>列や間隔を揃えようとする意識が弱いためきれいにそろわない。</li> <li>ポディーワークの表現は、ふぞろいが目立ち、表現力が乏しい。</li> <li>手具の表現は、ふぞろいが目立ち、表現力が乏しい。</li> <li>音楽に合わせて表現しようとする意識やアピール度が弱い。</li> </ul>
段階1	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢、動作等のスタイルが全く統一されていない。また演奏演技するのに適した動作になっていない。</li> <li>動作、タイミングが全くバラバラである。</li> <li>楽器、手具等の持ち方、操作の仕方が統一されておらず演奏演技するのに適していない。</li> <li>ミスしている自覚がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>列や間隔をそろえようとする意識があるように見受けられない。</li> <li>音楽に合わせて表現しようとする意識があるように見受けられない。</li> </ul>